



▲terraで開催した「心と身体を整えるお灸学習」

**菅原** 特性のある子って難しく、些細な事で気分が変わったりするから、その状態を親がどこまで受容できるか、という問題もあって。親自身、「もし宿題ができなくても、まあいいか」ぐらいにゴールのレベルをもう少し下げてもらえたら、特性のある子も生きやすいんじゃないかな。騒がしい子で多少うるさいなと感じても、その子なりにきつと原因があるんだから仕方ないじゃないですか。そういう意味で、周りももうちょっとやさしい社会になって欲しいです。

**工藤** 子どもはうるさくて当たり前だからね。特性のあるお子さんでもゆっくり成長していけるんです。この間、うちに通っている人見知りをする子がお客さんに挨拶していて。小さな変化なんだけど、嬉しかったですね。お母さんも喜んでくれました。

**どんな子にも「やさしい」社会に**



**工藤** 昔は「登校拒否」と言っていた子が発達障がいと診断されたということを受容しきれない家庭もあるんですよ。やっぱり「親が悪い」とか「子どもが育たないのは親の責任」という風潮があったから、余計に。上の子二人は学校に行っていないんですけど、不登校に関しても同じですね。

**菅原** 私、教員時代は不登校の子の親に「学校に連れてきてください」と何度も言っていましたけど、今思うと、ご両親に申し訳なかったなって思います。

**菅原** うちも担任の先生に言われましたね。そもそも、「不登校」って症状結果じゃないですか。症状の原因がわからないのか、発達特性なのか、体調不良なのか、原因によって対処が違うはずなのに、一律で「不登校」とされてしまうんですよ。

**菅原** 変化に気がついてもらえるのって、保護者からすれば、めちゃくちゃ嬉しいことです。

**工藤** あと、保護者面談もしているんですけど、不登校の子を持つお母さんに「お母さんがやりたいこともいいんだよ」ってお話してらんです。この間、映画を観に行きたいと言って実際にいったお母さんが、報告と一緒に「自分をほめてあげたい」って言ってきて。

**お互いを承認しあえる「場所」**

**菅原** サロンを始めた目的が二つあって、一つ目は「親同士が共感できる場所をつくる」ということ。二つ目は「発達障がいに対する社会理解を広める」ということです。極端に挨拶が苦手だとか、一般的に理解しにくい行動をとることがあっても、今の子どもたちが社会で働く頃には、もう少し受け入れられる体制が整っている世の中になってほしいという想いがあります。その前段階として、親同士が話す場所がないと相談先が分からない。だから、共感の場所であり、情報提供をする場所が必要なんです。

**工藤** わかります。保護者向けもだし、先生向けもそう。誰だって、お互いに承認しあえる場所が必要なんだと思います。私は子どもが自分で学校に行く日、家にいる日、フリースクールに行く日を選べばいいなと思っていて、そのためにうちは週2〜3日のコース

**菅原** 私の場合にはボランティアだし、みんな仕事をしながらだから日数も限られるし。今は曜日分けて、鶴岡市で金・土に一回ずつ、山形市では不定期に開催していますが、親としては「相談するほどの問題じゃないだろう」という感覚もあって、すごくハードルが高いんだと思います。「勇気を出してきました」という方もたくさんいますし。それから、「母親が悪い」という風潮。これでお母さんの自尊心が下がってしまうんですよ。



**菅原** まだまだ利用者は少ないですけど。

**工藤** おじいちゃん、おばあちゃんやパートナーの理解も大事ですよ。一緒に来てくれるのは、やっぱりお母さんが多いんです。でも、一番重要なのは「子どもが来たいと思ってるか」。フリースクールや支援施設は県内でも

**菅原** 私はやっぱり、細く・長く、かな。三年やってみて、少しずつ認知が広がっているのを感じられるようになりまして。あとは、自分を責めるお母さんが一人でも少なくなればいいな。そのために止まっちゃいけないと思っています。

**菅原** 自分をほめるメンタルが素晴らしい！ 自分をほめるのって罪悪感を感じる時もあるから、ほめたいと思えたのは工藤さんの働きかけのおかげですね。

**工藤** 子どもは行きたくなくて学校に行っていないわけだから、お母さんが無理に付き合わなくていいと思うんですよ。お母さんも自分の時間を作らないと、疲れちゃう。

**菅原** 子どもも親も先生も疲れてますよね。だから「来てよかった」とか「勇気出して良かった」と言ってもらえると、とても嬉しいです。

**これからの目標**

**工藤** 目標は、不登校だと言われる子がこれ以上増えないこと。そのためにできることは精一杯やっていきたい

**菅原** 難しく考えずにやってみるのがいいんじゃないかな。多分「やりたい」と思うっていうことは、気持ちのベクトルはその先を向いていると思うので、あとは一歩を踏み出すだけだと思います。イベントなら、日付を設定してSNSで投稿すれば、一気に拡散する時代ですから。機を逃さず一歩を踏み出してみて、駄目ならやめたらいいんですよ。

**若者の皆さんへメッセージ**

**工藤** 居場所づくりって、場所がないとできないと思われがちだけど、私は初めは自宅でした。公民館でしている団体もあるし。だから場所をハードルと考えると、「子どもに何かしてあげる」という感覚ではなく、一緒に楽しむスタンスのほうがいいかなと思います。

**菅原** 難しく考えずにやってみるのがいいんじゃないかな。多分「やりたい」と思うっていうことは、気持ちのベクトルはその先を向いていると思うので、あとは一歩を踏み出すだけだと思います。イベントなら、日付を設定してSNSで投稿すれば、一気に拡散する時代ですから。機を逃さず一歩を踏み出してみて、駄目ならやめたらいいんですよ。

**イベント情報**

<p><b>みんながたのしめるラボ</b></p> <p>日時 2023年7月29日(土) 13:00~16:00</p> <p>会場 旧栄小中学校内 (鶴岡市播磨字若松 51-1)</p> <p>子づれのお出かけ、楽しめてます？ 無理してません？ 疲れてませんか？ ここでは、大人も子どもも楽しめます！ どなたでもどうぞ。 デジタル体験会やカウンセリング、レモネードスタンドプロジェクトなど親子で楽しめる催しを予定しています。 ※上履きをご持参ください。予約不要。</p>	<p><b>terra サマーフェスティバル</b></p> <p>日時 2023年7月31日(月) ~ 8月2日(水)</p> <p>会場 一般社団法人 terra (天童市東本町 3丁目1-15)</p> <p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>7/31 PM 体と心を整えるお灸教室</p> <p>8/1 AM 英語ってすっごくシンプル♪を体感しちゃおう！</p> <p>8/1 PM はじめてのきものはじめてのきもの</p> <p>8/2 AM 「いえ」ってなに？</p> <p>ご参加をお待ちしています！</p>
---	---

**一般社団法人 terra** (ウェブサイト) 一人ひとりの可能性が未来へ伸びていくように、多様な学びの場を提案します。

<https://terra1017.net/>

**とまり木つくる会** (ウェブサイト) 子どもの発達障がいについて、安心して話せる場所を作っています。

<https://tomarigisalon.wixsite.com/tomarigisalon>



◀とまり木サロンの様子

素敵な場所がいっぱいあるのに、子どもの心が冷え切っちゃってしまっていると足が向かず、誰も来ない場所になってしまっている。

**菅原** いくら親が連れて行きたいと言っても、行政が素晴らしい活動だと言っても、肝心の子どもが行きたがらないと成り立たない事業ですよ。私たちも長く活動を続けたいので、無理をしないことが大事だと思います。

**工藤** そうですね、だからこそ、子どもたちと一緒に、親も私たちも楽しまないで。楽しい場所だと思ってもらうことが大事ですよ。

**菅原** 私も楽しんで活動しています！企画を考えるのが好きなので、向いているんだと思います。細かくて難しい部分は、得意な人にしてもらって(笑)。